

稲沢市立三宅小学校で防災講座を行いました

令和7年10月22日（水）、稲沢市立三宅小学校で5年生15名に防災講座を行いました。学校の近くには三宅川や日光川が流れています。

講座では、稲沢市でも被害のあった伊勢湾台風や9.12豪雨災害、東海豪雨など過去の水害について学習しました。浸水疑似体験映像の視聴中は、避難を躊躇う主人公に対し、「早く避難しなきゃ」「外に出られなくなるよ」などの声上がり、避難するときには高い場所へ逃げる垂直避難をしたいという児童が大半でした。

また、伊勢湾台風A I 語り部「伊勢湾太郎さん」との対話体験では、元気よく積極的に手を挙げ、「何を食べていましたか？」「避難所はどんな様子でしたか？」などの質問をし、伊勢湾台風について理解を深めて頂きました。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

なお、講座の様子は、中日新聞に取材頂きました。

